

令和4年度入学式校長式辞

実り多き田園がひろがるここ伏見向島に、春の色どりを感じさせる今日の佳き日、令和4年度、京都府立京都すばる高等学校入学式が、保護者の皆様とともに、在校生や教職員の祝福を受け、盛大に挙行できますことは、このうえない喜びでございます。

只今、入学を許可されました、289名の入学生の皆さん、入学おめでとうでございます。本日入学式を迎えた皆さんは、入学の喜びと、高校生活への期待で胸いっぱいのことと思います。一方、これからの高校生活に対する不安もあると思います。どうか一日も早く新しい環境に慣れ、楽しい充実した高校生活を送ってくれることを願っています。

皆さんを迎える本校は、昭和六十年に「商業」に関する専門高校「京都府立商業高等学校」として開校し、平成十五年度の学科改編により「商業」と「情報」に関する専門高校「京都府立京都すばる高等学校」として生まれ変わりました。平成28年からの3年間は文部科学省のスーパープロフェッショナルハイスクールの研究指定を受け、令和元年度からの3年間は同じく文部科学省の地域との協働による高等学校教育改革推進事業の研究指定を受けました。さらに昨年度から同じく文部科学省から研究指定を受けた情報系専門学校のパートナー校として、専門学校・高等学校連携による中核的IT専門職人材の加速型育成プログラムの開発を6年間かけて行う等、国の教育改革をけん引する役割を果たしています。

その歴史の中で、本校の使命は、府内唯一の商業と情報の職業に関する専門高校として、新しい時代に応じた専門教育によって地域社会から信頼され必要とされる学校になり、生徒ひとり一人の未来を明るく照らすことを目指すことです。職業につくということは「働く」ということであり、そこには3つの目的があると思っています。1つ目は「貢献すること」、これは誰かの役に立つ、誰かを喜ばすということです。2つ目は「自己実現を果たすこと」、これは自分のやりがいや生きがいを得るということです。そして3つ目は、貢献と自己実現の成果としての報酬、いわゆる稼ぎを得るということです。本校で学び、就職する場合はもちろんのこと、大学や専門学校などへ進学する場合においても、この働く目的を達成できる人になることは、自分自身と社会の幸福の実現のためには欠かせないことの1つだと思います。そこで、皆さんが、本校において心掛けていただきたいことを2つお話しします。

1つ目は貢献できる人、誰かの役に立てる人になるために、日々の授業や家庭学習の時間を大切に基礎学力を、しっかり身につけるとともに各学科の目標にそった、新しい時代に応じた専門性を身につけることが大切です。また、部活動において心や体を鍛えることも大切です。さらに、豊かな人間性をもつことが大切です。定められたルールを守る規範意識をもつとともに、人それぞれがもつ個性や多様性を尊重し、価値観や立場の違う人との連携や協働が出来るよう柔軟に物事を考えるようにしてください。

2つ目は自己実現、自分のやりがいや生きがいを見つけられる人になるためには、自分の

無限の可能性を信じ、様々なことに挑戦をする気持ちと行動が大切です。その挑戦は大きな挑戦でなくてもいいのです。小さな挑戦を繰り返すことで、自分自身の可能性がますます広がっていく事につながるものです。それが自分自身を認める感覚である自己肯定感につながります。中学生の時はしなかったこと、したかったけどできなかったこと、挑戦をすることは勇気のいることですが、その挑戦が成功に終わっても失敗に終わっても、今よりひとまわり大きく成長できるはずです。さらに、挑戦をする気持ちとともに、日ごろから自分を支えてくれている人の存在を意識し、感謝の気持ちを持つことが大切です。そうすると、成功した時はあなたに賞賛の拍手を贈ってくれるでしょう。また、失敗した時はあなたを助けるために手を差し伸べてくれるはずです。

皆さんは、これから3つの専門学科に分かれさまざまな学びや体験をしていくことになります。そこで今から第1回目の授業として質問をします。よく聞いて、よく考えてみてください。起業創造科のみなさん、起業とはどのような意味ですか？企画科のみなさん、企画とはどのような意味ですか？情報科学科のみなさん情報とはどのような意味ですか？事例や経験を交えながらその意味を筋道立てて分かりやすく人に説明できますか？それによって、誰かのために役に立つ方法を考えられますか？実際に挑戦し、誰かの役に立てた経験を通じて、社会は自分を必要としていることを実感できますか？個性と多様性を尊重し5年後、10年後、もっと先の自分が作る未来社会を想像して楽しみにしていますか？ワクワクしていますか？以上が質問です。ただ、この質問の答え合わせは3年後になります。慌てる必要はありません。みなさんには時間がたっぷりあります。どうぞ、ゆっくり確実に本校で学び成長し、自分なりのその答えを見つけて下さい。

2年前、本校は一斉休校で始まり、体育祭、研修旅行、販売学習京都すばるデパートは中止になりました。昨年、各学期が始まる度に様々な教育活動が制限されました。今なお続く新型コロナウイルスの感染拡大は世界中の人々にとって全く予期せぬ出来事でした。今年の2月、東ヨーロッパで戦争が起こりました。人の命・尊厳が守られる平和の尊さ、武力による問題解決の卑劣さを胸に刻む毎日です。そして3月、みなさんは本校の入学者選抜に合格しました。そのことは皆さんの人生においてどのような意味があるのでしょうか。まだまだこの先にどのような未来が待っているかは不透明です。ただ、いつの時代もどんな時も未来は不透明です。本校に合格したことの意味付けを未来の高校生活で行っていく物語が今日はじまるのです。

終になりましたが、保護者の皆様方に一言、御挨拶を申し上げます。本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。9ヶ年の義務教育を終えられ、京都すばる高校にご入学されたお子達の晴れ姿に、感慨もひとしおのものがあろうかと思えます。今後、私達は保護者の皆様と連携を密にしながら、ご期待に那样よう努力してまいり所存でございます。本校の教育方針や指導について深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご家庭におかれましては、子どもの主体的な活動を励ますと同時に、高校生としての望ま

しい在り方への御指導もよろしくお願いいたします。時には、人生のよき相談相手となっていていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、新入生の皆さんの、本校における生き生きとした活躍を期待して、式辞いたします。

令和4年4月8日

京都府立京都すばる高等学校 校長 貴島良介